

headline

- ☑ 「プラスチック資源循環戦略（案）」パブリックコメントの募集を開始（環境省）
- ☑ 森と自然を活用した保育・幼児教育推進自治体ネットワークが設立
- ☑ 事業報告、SEFからのお知らせ



公益財団法人
Save Earth Foundation

トピックス

「プラスチック資源循環戦略（案）」パブリックコメントの募集を開始（環境省）

環境省は11月19日、日本国内でのプラスチックを巡る資源・環境両面の課題を解決するなどを目的に策定した「プラスチック資源循環戦略（案）」について、パブリックコメントの募集を開始しました。

この戦略案は、今年6月に閣議決定された「第四次循環型社会形成推進基本計画」に基づくもので、来年6月に大阪市で開催するG20サミット首脳会議で政府方針として表明することをめざし、今年度中に正式決定する見込みです。

戦略案は「3R+Renewable（持続可能な資源）」を基本原則とし、重点戦略として「実効的な①資源循環、④海洋プラ対策、③国際展開、④基盤整備」といった4つの柱で構成されています。

戦略案の詳細およびパブリックコメントの募集に関しては、下記リンクより環境省ホームページを参照ください。
<http://www.env.go.jp/press/106186.html>

- プラスチック生産量と廃棄量の増大
 - ・ 1950年以降生産されたプラスチックは83億トンを超え、63億トンがごみとして廃棄された
 - ・ 回収されたプラスチックごみの79%が埋立 あるいは 海洋等へ投棄されている
 - ・ リサイクルされているプラスチックは9%に過ぎない
 - ・ 現状のペースでは、2050年までに120億トン以上のプラスチックが埋立・自然投棄される

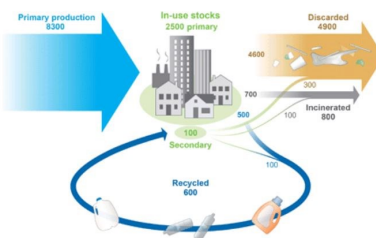


図1: プラスチック生産量と廃棄量

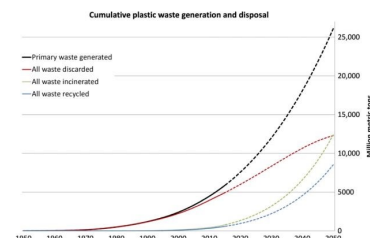


図2: プラスチック廃棄量の予測

環境省「プラスチックを取り巻く国内外の状況＜参考資料集＞より
※画像をクリックするとブラウザで拡大表示されます

トピックス

「森と自然の育ちと学びで拓く、子どもと地域の未来」～森と自然を活用した保育・幼児教育推進自治体ネットワークが設立

近年、国際的に幼児教育の重要性への理解が拡がり、幼児期に森林・自然の中で体験活動を行うことの重要性も指摘されています。

我が国においても、保育・幼児教育の質の向上のため、本年4月に新たな「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」が導入されました。加えて、子育て世代の移住促進による“地方創生”、“森林環境教育・森林ESD”の推進などの観点から、認証制度の創設、フィールド整備等に着手する自治体が増えています。

こうしたことから、自治体間の交流・連携等を通じた情報共有・発信、調査研究、人材育成等の促進を目的とする、「森と自然を活用した保育・幼児教育推進自治体ネットワーク」が設立され、去る10月に東京で設立記念シンポジウムが開催されました。今後このネットワークが中心となって、自然保育の普及や国への要望を進めていきます。



自然を活用した幼児教育を推進している3県（長野県、広島県、鳥取県）の知事が発起人となり設立

* SEFが森林保全活動を行なう「東御の森」（長野県東御市）がある長野県でも、信州型自然保育普及事業（愛称：信州やまほいく）が展開されており、県内185の保育園・幼稚園等が認定されています（2018年12月現在）。

資源管理適正化支援システム「SEF-Net」を 提供しています

SEFでは、排出事業者の廃棄物管理に関わる全ての情報をデータ化し、廃棄物管理に関わる業務の効率を高め、廃棄物の適正処理が円滑に行われることを支援しつつ、再資源化促進への意欲を高めて頂くことを目的としたクラウドサービス“資源管理適正化支援システム「SEF-Net」”を提供しています。

このSEF-Netは、日常業務管理からコンプライアンス・リスク管理、事業者間のコミュニケーションに至るまで、廃棄物・資源物に関するあらゆる業務をクラウド上で管理することが可能なシステムです。

一部の事業者において義務化が予定される“電子マニフェスト”も、このSEF-Netを活用して運用管理することが可能です。「インターフェイスの工夫による作業性向上」「複数個所での同時登録・修正が可能」「予約登録の件数の制限なし」など、電子マニフェストを運用管理するうえでのメリットも満載です。



SEF-Netを活用した電子マニフェストの運用イメージ

電子マニフェストの導入支援も合わせて行っていますので、まずはお気軽に事務局（TEL:03 - 5737 - 2744）までお問い合わせください。

詳しいご案内はSEF-Netホームページをご覧ください。<http://save-earth.or.jp/sef-net/>

SEFからの おしらせ 【来年1月、2月も開催！】電子マニフェスト 導入・運用セミナー 参加者募集を開始

初心者にもわかりやすくマニフェストの仕組みやマニフェスト電子化のメリットなどをご理解いただけるよう、工夫を凝らした「電子マニフェスト導入・運用セミナー」。本年度4回開催しており、各回とも参加者の皆さまからは好評のお声をいただいています。

次回もマニフェストに関する情報のほか、食り法の基本方針見直し、廃プラスチック類の状況に関する動向など、廃棄物・資源循環に関する最新情報もご提供予定です。奮ってご参加下さい。



【こんな方にオススメ】

- ◆そもそもマニフェストって何？制度について知りたい
- ◆電子マニフェストの導入を検討中である
- ◆電子マニフェストの義務化に不安を感じている
- ◆電子マニフェストを導入したが運用管理に課題がある

【日 程】 2019年 1月23日（水）

2月21日（木） いずれも16：00～17：30（受付15：30～）

【会 場】 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）セミナースペース

【定 員】 20名（先着順、1社2名様までとさせていただきます）

【参加費】 無料

詳しいご案内やお申込み方法は、SEFホームページをご覧ください。<http://save-earth.or.jp/archives/5580>

森林再生事業 活動報告

【日向の森（千葉県山武市）】「6歳になったら机を作ろう！机作り&木こり体験in山武」開催

今年5月に開催し、大好評をいただいた「6歳になったら机を作ろう！」。11月24日（土）に5組のご家族の参加を得て、2回目の開催となりました。

まずは日向の森に集合し、ビンゴを楽しみながら森の自然を満喫したあと、午前中のメインイベントへ。サンプスギの人工林に入り、森林組合の方の指導で間伐を体験。普段できない経験に子どもたちは興奮気味でした。そして昼食の後、いよいよメインイベントの机づくりをスタート。ご両親と一緒に、接着、切断、穴開け、ビス止め、やすり掛けなど、工程を一つずつ体験しながら、サンプスギ100%の学習机を完成させました。

雲が多く風が冷たい一日となりましたが、最初から最後まで子どもたちは元気に参加してくれました。思い出の詰まったこの机で、たくさん勉強してもらいたいと思います。

SEFホームページではこのイベントの詳細に加え、山武市で開催された各種イベントへのブース出展の様子も紹介しています。ぜひ、下記リンクからホームページをご覧ください。<https://save-earth.or.jp/archives/6052>



森林再生事業 活動報告

【東御の森（長野県東御市）】イベント～「東御の森」の自然について学ぼう～を開催

カラマツの紅葉が始まった東御の森で、去る10月20日（日）、木の実や野鳥などを観察し、自然を感じながら散策するイベントを実施しました。総勢15名参加のもと、ご家族と一緒に参加してくれた3人の子どもたちにあわせて、ドングリやオニグルミの実を拾いながら、ゆっくりとしたペースで森を歩きました。



途中の水溜りでは、ここに水を飲みに来る動物の話を知りました。自然環境調査を依頼している（株）Biotop Guildの調査員も同行し、野鳥を観察するコツについても教えていただきました。

このイベントには東御市農林課の職員も参加し、市有林の管理についての説明がありました。SEFスタッフからは森内にある水分け（六分水榭場）や百体観音（26番観音）を紹介、旧くから人々の暮らしに関わってきた森であることをお伝えしました。

※このイベントは（公社）国土緑化推進機構「水と緑の森林ファンド」の助成を受けて実施しました。





SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを随時募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日（東京駅から送迎いたします！）に定例活動を行っているほか、兵庫県丹波市、大分県臼杵市でも定期的実施しています。

直近の活動は下記を予定していますので、ぜひご参加ください。



<12月・1月の活動予定>

千葉県山武市 12月8日（土）、22日（土）

1月12日（土）、26日（土）

兵庫県丹波市 1月27日（日）

※日程は変更となる可能性があります。最新の情報はホームページを参照ください。

ホームページはコチラをクリック…<https://goo.gl/uEt3CZ>



企業・団体向け森林体験プログラム 「森活」のご案内

SEFでは、企業や団体の皆様向けに「森活」をご提案しています。

私たちがご提案する「森活」とは、「森を活かす」こと。“森”での“活”動を通して、社会貢献活動の一環としての取組みに、またチームの関係性の基盤づくりや強化に、さらにはリラックス・リフレッシュのための福利厚生など、様々な効果につなげることができると考えています。

フィールドとしてご用意するのは日向の森（千葉県山武市）。都心からおよそ90分の好アクセスで、企業・団体の皆様の「森活」をお手伝いします。

皆様のご要望に応じたメニューをご提案しますので、まずはお気軽に事務局までお問い合わせください。

「森活」ってどんなことをするの？

季節に応じて、様々なプログラムをご用意しています。



植樹



下草刈り



間伐



ツル切り・枝打ち



薪割り



森林散策



クラフト